

※クリックすると記事のページを開きます。

①カンボジア語スピーチコンテストで入賞（2016 年 7 月）	2
②カンボジア語スピーチコンテストで入賞（2017 年 10 月）	3
③カンボジア語スピーチコンテストで入賞（2018 年 7 月）	4
④ボランティア体験報告：小金井市立東小学校 ミニ運動会（2018 年 11 月 20 日）	6
⑤ボランティア体験報告：もちつき大会（2018 年 12 月 8 日）	7
⑥ボランティア体験報告：小金井市立東小学校 交流授業（2019 年 1 月 18 日）	9
⑦ボランティア体験報告（2019 年 3 月 7 日）	10
⑧ボランティア体験報告：第 47 回子ども週間行事東部地区子ども縁日（2019 年 4 月 20 日）	12
⑨ボランティア体験報告：放課後こども教室（2019 年 5 月 16 日）	15
⑩高尾山ハイキング（2019 年 6 月 15 日）	17
⑪カンボジア語スピーチコンテストで入賞（2019 年 10 月）	18
⑫ボランティア体験報告：東児童館 ハロウィンパーティー（2019 年 10 月）	19

①カンボジア語スピーチコンテストで入賞（2016 年 7 月）

2016 年 7 月 16 日（土）、カンボジア語スピーチコンテスト 2016（主催：カンボジア大使館、後援：一般社団法人日本カンボジア協会、外務省、ANA、東横 INN 等）が駐日カンボジア大使館において開催され、今村友輔さん（言語文化学部 カンボジア語 3 年）が 3 位に入賞しました。なお、優勝した村上奈々子さんは、本学外国語学部の卒業生（2009 年 カンボジア語卒）です。

今回のコンテストでは、予選通過者のみが本選に進むことができ、本学からは応募者 11 名のうち 4 名が本選に臨みました。コンテストには、他大学の学生その他、研究者や社会人も出場し、1 位と 2 位は、いずれもカンボジア長期滞在経験のある社会人でした。

今村さんは、カンボジア滞在経験がないにもかかわらず、「カンボジアと日本の古都の比較」と題して流暢なスピーチを行い、審査員からの高度な質問にも当意即妙に答えたことが高く評価されました。

今村さんには、第 3 位の副賞として、伝統工芸品の銀皿と賞金 3 万円、さらに引き続き勉学に励むよう『カンボジア民話集』全 9 巻が贈られました。また、参加者全員に、カンボジア大使より記念品としてアンコール・ワット遺跡の絵柄の T シャツが贈られました。

なお、本スピーチコンテストは、2013 年の開催後、しばらく実施が途絶えていましたが、本学学長特命事項担当の長崎輝章特任教授らの尽力により、再開したものです。カンボジア語を学ぶ学生にとって大きな目標となる本スピーチコンテストは、今後も開催される予定です。

今村さんのスピーチは [こちら](#) からご覧いただけます。



スピーチをする今村さん



チア・キムタ大使、バン・ソバタナ本学教授と本選参加の本学学生 4 名



副賞の銀皿

②カンボジア語スピーチコンテストで入賞（2017 年 10 月）

2017 年 10 月 14 日（土）、カンボジア語スピーチコンテスト 2017（主催：駐日カンボジア王国大使館、駐福岡カンボジア王国名誉領事館、後援：外務省、ANA、オーバーシーズネットワーク等）がカンボジア大使館において開催され、齋藤彩さん（言語文化学部 カンボジア語 3 年）が 1 位に、岡千尋さん（国際社会学部 東南アジア地域 4 年）が 2 位に入賞しました。

今回のコンテストでは、本学と他大を含め大学生 10 名、社会人 3 名が本選に臨み、審査員は外務省から 2 名、在日カンボジア人代表 2 名の合計 4 名でした。

齋藤さんは、「文化と社会を知ること」と題するスピーチを行い、ことばを通して文化を知る大切さを自身の例をあげながらわかりやすく話しました。カンボジアでの滞在経験が本学のショートビジットの 2 週間に関わらず、質疑応答では方言についても説明できたことも高く評価されました。

岡さんは、「なぜカンボジア語を学ぶのか」と題するスピーチを行い、発話の流暢さだけではなく、諺や慣用句や歌詞を多用した内容からカンボジア文化に対する深い造詣が評価されました。

齋藤さんと岡さんには、副賞として、カンボジア往復航空券と伝統工芸品の銀容器が贈られました。また、参加者全員にカンボジア大使より記念品としての T シャツが贈られました。授賞式典では、本学の林佳世子副学長も挨拶をし、昨年のコンテストの 3 位入賞の今村友輔さんが通訳を務めました。

齋藤さんと岡さんのスピーチは本学 [YouTube: TUFS Channel](#) からご覧いただけます。

カンボジア語スピーチコンテスト 2017 優勝！[齋藤彩さんスピーチ](#)

カンボジア語スピーチコンテスト 2017 2 位 [岡千尋さんスピーチ](#)



授賞式での齋藤さん



スピーチをする岡さん



林佳世子本学副学長の挨拶

③カンボジア語スピーチコンテストで入賞（2018 年 7 月）

2018 年 7 月 16 日（月）、本年のカンボジア・日本外交樹立 65 周年を記念して、カンボジア語スピーチコンテスト 2018（主催：駐日カンボジア王国大使館、駐福岡カンボジア王国名誉領事館、後援：外務省、A N A 等）がカンボジア大使館において開催され、都崎理菜さん（言語文化学部 カンボジア語 3 年）が 1 位に、井上令菜さん（言語文化学部 カンボジア語 4 年）が 3 位に入賞しました。

今回のコンテストでは、本学と他大を含め大学（学部）生 11 名を含む 14 名が本選に臨み、審査員は外務省から 2 名、在日カンボジア人代表 2 名の合計 4 名でした。

優勝した都崎さんは、「カンボジアの合掌と日本のお辞儀」と題するスピーチを行い、ふたつの文化の共通点と相違点について、具体例をあげながらわかりやすく話しました。審査員からは、スピーチの内容はもちろんのこと、自信をもって堂々と話した態度、美しく聞きやすい発音、また質疑応答でショートビジット（2 週間の短期留学）についての的確に答えたことが高く評価されました。

3 位に入賞した井上さんは、「外国人との交友」という題で、留学中に日本語を教えたエピソードを例に挙げ、一般的な国民性よりも、各人の個性を理解することの大切さについて語りました。留学で身につけたカンボジア語らしい自然な話し方が高く評価されました。

都崎さんには副賞として、カンボジア往復航空券、ホテル宿泊券、また伝統工芸品の銀細工が贈られました。井上さんにも同様にカンボジア往復航空券等が、また、参加者全員にカンボジア大使より記念品としてトートバッグと T シャツが贈られました。

都崎さんと井上さんのスピーチは本学 YouTube: TUFS Channel からご覧いただけます。

[カンボジア語スピーチコンテスト 2018 優勝！都崎理菜さんスピーチ](#)

[カンボジア語スピーチコン](#)

[テスト 2018 3 位の井上令菜さんスピーチ](#)



チア・キムター大使から表彰される都崎理菜さん



石澤良昭上智大学アジア人材養成研究センター所長から表彰される

井上令菜さん



近日、離任なさるチア・キムター駐日カンボジア大使（H.E. Ms. Chea Kimtha）に対し、これまでのスピーチコンテスト開催や外語祭語劇鑑賞といったご配慮に感謝し、本学学生一同から色紙と花束を贈呈しました。

④ボランティア体験報告：小金井市立東小学校 ミニ運動会（2018年11月20日）

本学の交換留学生（ミャンマー人学生3名、ラオス人学生3人名、カンボジア学生2名）が

小金井市立東小学校 ミニ運動会にボランティアとして参加しました。

ボランティア活動者：

アウンミヤツ（ミャンマー；2018年度交換留学生）

ニンエツウィー（同上）

スーウィンモン（同上）

ナパーポーン・ポンアーサー（ラオス；2018年度交換留学生）

スイウドムパン・ティツパワン（同上）

カムラ・ベッタターン（同上）

ハン・ソロン（カンボジア；2018年度交換留学生）

ルース・チャントラ（同上）

参加活動名：「小金井市立東小学校 ミニ運動会」

日時：2018年11月20日 午後1時30分～15時15分

場所：小金井市立東小学校体育館

主催：小金井市立東小学校

活動テーマ：小学生とミニゲームを楽しみながら交流する

参加者：小金井市立東小学校在籍の3年生 100人

活動内容：自己紹介、各国のあいさつの言葉の紹介、小学生の踊りの鑑賞、ラジオ体操

小学生とチームを組んで、玉入れ・ボール送り・輪くぐり・質問コーナー

⑤ボランティア体験報告：もちつき大会（2018 年 12 月 8 日）

交換留学生として本学に留学中の留学生と、本学の外国人教員がもちつき大会のボランティアを体験しました。

ボランティア活動者：

サイチョートウン（ビルマ語特定外国語主任教員）

スリカン・タムマウォン（ラオス語特定外国語主任教員）

カムラー・ペンタターン（ラオス；2018 年度交換留学生）

スイウドム・ティッパワン（同上）

ナパーポーン・ポンアーサー（同上）

ルース・チャントラ（カンボジア；2018 年度交換留学生）

千葉 綾乃（言語文化学部ラオス語 4 年）

参加活動名：「もちつき大会」

日時：2018 年 12 月 8 日

場所：小金井市立東児童館

主催：小金井市青少年健全育成東部地区委員会

活動テーマ：地域の人たちと触れ合い交流する。餅つきを通して日本の文化を知る

参加者：計 約 380 人

近隣の小中学生、幼児とその親、スタッフ、市内及び近隣在住の留学生

活動内容：餅つき、餅の加工、餅のパック詰め、餅の配布



子供達にお餅を配る留学生



初めての体験。お餅を丸める



呼吸をあわせて「よいしょ」



先生方も初のもちつき。一生懸命

⑥ボランティア体験報告：小金井市立東小学校 交流授業（2019 年 1 月 18 日）

本学の交換留学生（ラオス人学生 1 人名、カンボジア人学生 2 名）が、小金井市立東小学校の交流授業にボランティアとして参加しました。

ボランティア活動者；

カムラー・ペンタターン（ラオス；2018 年度交換留学生）

ハン ソロン（カンボジア；2018 年度交換留学生）

ルース チャントラ（同上）

参加活動名；「小金井市立東小学校 交流授業」

日 時 ；2019 年 1 月 18 日 10 時 30 分～12 時 15 分

場 所 ；小金井市立東小学校体育館、5 年生各教室

主 催 ；小金井市立東小学校

活動テーマ；小学生と楽しみながら交流する。各国の紹介をして小学生に興味を持ってもらう。

参 加 者；小金井市立東小学校在籍の 5 年生 109 人、

留学生(東京外国語大学、ICU)17 人

活動内容 ；

第 1 部 留学生より自己紹介、各国のあいさつの言葉の紹介、各国のシンボル の紹介

小学生の島唄の演奏、好きなスポーツ・色・果物から留学生を当てる、爆弾ゲーム

第 2 部 各教室に分かれ 5、6 人のグループになって留学生にインタビュー



子どもたちの質問に答えるカムラーさん



爆弾ゲームを楽しむチャントラさん



最後の挨拶をするソロンさん

⑦ボランティア体験報告（2019 年 3 月 7 日）

本学の交換留学生（ラオス人学生 3 名、カンボジア人学生 3 名）が、小金井市立東小学校で行なわれた放課後子ども教室ちＱ人の活動にボランティアとして参加しました。

ボランティア活動者；

カムラー・ペンタターン（ラオス；2018 年度交換留学生）

ナパーポーン・ポンアーサー（同上）

スイウドムパン・ティツパワン（同上）

ハン・ソロン（カンボジア；2018 年度交換留学生）

ルース・チャントラー（同上）

ポー・クンティップ（同上）

参加活動名；「小金井市東小学校区 放課後子ども教室 ちＱ人 “色ともよう”」

日時；2019 年 3 月 7 日 14 時 45 分～16 時 15 分

場所；小金井市立東小学校、特活室

主催；ちＱ人

活動テーマ；小学生と留学生が楽しみながら交流する。色ともようをテーマとして、各国語を紹介しながら各国について小学生に興味を持ってもらう。

参加者；小金井市立東小学校在籍の主に 2 年生と 3 年生 30 人、留学生（東京外国語大学、ICU）10 人

活動内容；ダグダググース、留学生の自己紹介、色連想ゲーム、色おに、グループに分かれて UNO、サインカード

小学生が集まるまで、ダグダググースをして遊びました。留学生の自己紹介のあと、留学生に各国語で色の名前を言ってもらい、その色を当てる「色連想ゲーム」を行いました。引き続き、留学生に各国語で色の名前を言ってもらい、教室内に貼り付けた国旗などの色のなかから、留学生が言った色を探してその色のところに集まる「色おに」をしました。そのあ

と、オリンピック競技のピクトグラムを用いてグループ分けを行い、各グループで UNO をして遊びました。小学生たちは、カードの数字と色を留学生から聞き出し、その国の言葉で UNO をして留学生と一緒に遊びました。最後にサインカードを交換し、それぞれのカードにサインを書き合いました。小学生たちは、各国語による色の名前や数字を覚えるのが早く、楽しく遊ぶことができました。



自己紹介をする留学生たち
(右から6名がラオスとカンボジアの学生)



色おにを楽しむティップワンさん（左）とポンアーサーさん（右）



グループに分かれたソロンさん（左）とチャントラーさん（右）



⑧ボランティア体験報告：第 47 回子ども週間行事東部地区子ども縁日（2019 年 4 月 20 日）

本学の留学生が、小金井市青少年健全育成東部地区の主催の「子ども縁日」に参加しました。

ボランティア活動者；

ニンエツウィー（ミャンマー；2018 年度交換留学生）

スーウィンモン（同上）

カムラー・ペンタターン（ラオス；2018 年度交換留学生）

ナパーポーン・ボンアーサー（同上）

スイウドムパン・ティッパワン（同上）

ルース・チャントラー（カンボジア；2018 年度交換留学生）

ハン・ソロン（同上）

参加活動名；「第 47 回子ども週間行事東部地区 子ども縁日」

日時；2019 年 4 月 20 日 10 時～12 時 30 分

場所；小金井市立東小学校

主催；小金井市青少年健全育成東部地区実行委員会

活動テーマ；地域の子ども会、健全育成委員の協力により、地域の子もたちと地域の中学生、留学生、大人との触れ合いを楽しむ

参加者；小金井市青少年健全育成東部地区委員、小金井市長、小金井市教育長、小金井市立東小学校、

同東中学校の校長、副校長、小金井市立東児童館職員、東部地区の子ども会、近隣在住の留学生

活動内容； 飲食やゲームの出店

留学生たちは、じゃんけんゲーム 5 名と焼きそばの手伝い 2 名の 2 班に分かれて活動しました。各班の活動の詳細は以下の通りです。

（１） 留学生の出店；じゃんけんゲーム

留学生 6 人が 3 人ずつ 2 組（ミャンマー・ラオス・カンボジアとミャンマー・カンボジア・アメリカ（ICU の留学生））になる。

第 1 組は、それぞれの母国語でグー・チョキ・パーを書いた紙の前に座る。子どもに母国語の発音で「グー・チョキ・パー」を教えたあと、母国語でじゃんけんをする。第 2 組は他の出店（スーパーボール・缶倒し・わたあめ・ポップコーンなど）を楽しむ、子どもたちと交流する。時間が来たら 1 組と 2 組が交代する。

（２）「焼きそば」のお手伝い（盛り付け）

健全育成委員の焼いた焼きそばを、プラスチックパックに盛り付けて、箸をのせ輪ゴムで止める。空いた時間には他のお店を回り、子どもたちとゲーム等で楽しむ。

活動の様子

①じゃんけんゲーム

負けても勝っても楽しい「じゃんけんゲーム」。子どもたちは、初めて目にする外国語、初めて聞いた外国語に戸惑いながらも、楽しんでいました。留学生の皆さん、母国に帰ってもこの体験を思い出して、「じゃんけん」してくださいね。



笑顔でじゃんけんをするソロンさん、ニンさん、チャントラーさん、カムラーさん、スーさん

②焼きそばのお手伝い

ナパーポーンさんとティツパワンさんは焼きそば係りを担当。出来上がった焼きそばを手際よく盛り付けていました。

ナパーポーンさんは、母国には無い「ソース焼きそば」の味が気に入り、母国に持って行きたいとさっそく粉末ソースを購入。



参加者（カムラーさん）の感想；

この活動のおかげで、私は子どもたちと色々なゲームで遊べて、そして、色々な食べ物が食べられました。特に子どもたちとゲームで遊んだ時は、子供たちの笑顔を見て、子どもたちに笑わせられて、本当に嬉しかったです。また子供たちと遊ぶ以外に、他の国の友達のゲームも遊びました。本当に楽しかったです。今度もしこのような活動があったら私はまた参加したいです。

⑨ボランティア体験報告：放課後こども教室（2019 年 5 月 16 日）

本学の留学生が、小金井市立東小学校でおこなわれた、ち Q 人主催の「放課後こども教室」に参加しました。

ボランティア活動者；

ニンエツウィー（ミャンマー；2018 年度交換留学生）

スーウィンモン（同上）

アウンミャツ（同上）

ナパーポーン・ポンアーサー（ラオス；2018 年度交換留学生）

ルース・チャントラー（カンボジア；2018 年度交換留学生）

ハン・ソロン（同上）

参加活動名；「放課後子ども教室 がいこくの人とあそぼう！」

日時；2019 年 5 月 16 日 14 時 45 分～16 時 15 分

場所；小金井市立東小学校

主催；ち Q 人

活動テーマ；小学生とゲームを通じて国際理解と国際親善を推進する

参加者；小金井市立東小学校在籍の 1 年生～3 年生、近隣在住の留学生

活動内容；留学生にインタビュー、体を使ったゲーム、ダック・ダック・グースゲームなど



自己紹介をする留学生「ミャンマーの挨拶は？ミンガラバー」と紹介したニンさん。子どもたちから「ミギガワ」と言われて大爆笑



子どもと手をつないで立ち上がるゲームで「よいしょ」ああ失敗！



カンボジアを説明するチャントラーさん

好きな日本料理やアニメを聞かれ、「えーっと・・・」「ううん・・・」一生懸命に答える留学生の皆さん。お寿司、たこ焼き、ラーメンとの回答に、真剣にメモをする小学生たち。やっぱりジブリとドラえもんは大人気でした。



⑩高尾山ハイキング（2019 年 6 月 15 日）

世界展開力強化事業で留学中のミャンマー・ラオス・カンボジアの学生が、6 月 15 日（土）に「高尾山ハイキング」に行ってきました。

留学中に一緒に食事をしたり遊んだりしているうちに、仲良くなった 3 国の学生が、「帰国前にどこか行ったことがない所に、みんなで行こう」と考え、カンボジアのチャントラーさんの提案で「高尾山ハイキング」を企画しました。

当日は大雨で、寒い一日でしたが、とても楽しかったようです。



山頂での集合写真

（企画したチャントラーさんの感想）

「私たちは、高尾山に行ってとても楽しかったです。山の上でみんなと、そばやうどんを食べたり、おでんを食べたりしました。写真もいっぱい撮りました。雨だったので大変でしたが、山に登った時は面白かったです。」



高尾山駅前の集合写真

（ラオスの学生；ティップワンさんの感想）

「6 月 15 日にミャンマー・ラオス・カンボジアの 3 国の学生といっしょに、高尾山に行きました。その日は一日中大雨が降っていましたが、みんなは約束通り一緒に楽しみました。最初にケーブルカーに乗ってから、高尾山の山頂まで歩きました。歩きながらたくさん写真を撮りました。山に登ると大きなお寺があって、とても綺麗でした。もし天気良かったら山頂から富士山が見えるそうですが、残念ながら大雨で、見られませんでした。その後、皆は疲れたので、お店で昼食を食べて休憩しました。とても寒かったので、私は温かいうどんを食べ、良い気持ちになりました。今回の旅行で、みんなは感動して、ますます仲良くなりました。もし良ければ、もう一度高尾山に行きたいと思います。」

留学生たちは大学での授業や寮での生活、そして様々なイベントと一緒に参加する中で、とても仲良くなりました。その仲の良さは、皆さんお揃いの TUFS オリジナル T シャツやパーカーを着て、このハイキングに臨んでいる様子からも窺えます。雨がたくさん降る中、きちんと約束を守って実行したことで、さらに絆が深まったようです。

⑪カンボジア語スピーチコンテストで入賞（2019年10月）

2019年10月5日（土）、カンボジア語スピーチコンテスト2019

（主催：駐日カンボジア王国大使館、後援：外務省、ANA、東横INN）が赤坂の同大使館において開催され、吉田篤史さん（言語文化学部3年）が1位に、野口亜依さん（国際社会学部1年）が2位に入賞しました。

今回のコンテストでは、大学生10名、社会人2名が本選に臨

み、審査員は外務省から2名、在日カンボジア人代表1名の合計3名でした。

吉田さんは、王立プノンペン大学国文科に派遣留学した経験についてスピーチを行い、年中行事に参加して気がついた日本とカンボジアの寺院保存方法の違いについて話したこと、また、質疑応答では国文科の授業で学んだ碑文やパーリ語について説明できたことが高く評価されました。

野口さんは、学習の過程で読んだ民話から考えたカンボジアの食文化について、また、カンボジア人留学生たちとの交流事業に参加して、学んだ言葉を実践し食文化を体験できた喜びについて語り、1年生とは思えない発話の流暢さ、堂々とした話し方、質疑応答の力が評価されました。

吉田さんと野口さんには、副賞として、カンボジア往復航空券とプノンペン市内のホテルの滞在券、記念の盾が贈られました。また、参加者全員にカンボジア大使より記念品が贈られました。

吉田さんと野口さんのスピーチの一部はこちらからご覧いただけます。

1) [\[東京外国語大学\] カンボジア語スピーチコンテスト 2019 優勝 吉田篤史さん](#)

2) [\[東京外国語大学\] カンボジア語スピーチコンテスト 2019 2位 野口亜依さん](#)



授賞式でのウン・ラチャナ駐日カンボジア大使
(H.E. Mr. UNG Rachana) と吉田さん



スピーチをする野口さん

⑫ボランティア体験報告：東児童館 ハロウィンパーティー（2019 年 10 月）

本学の交換留学生（ミャンマー人学生 4 名、ラオス人学生 3 名、カンボジア人学生 1 名）が、小金井市東児童館で行なわれたハロウィンパーティーにボランティアとして参加しました。

ボランティア活動者；

チョウティーリアウン（ミャンマー；2019 年度交換留学生）

メイテツパインチョー（同上）

テススティン（同上）

ミヤツネイチタウン（同上）

ナントラート・ハマッサジャン（ラオス；2019 年度交換留学生）

ボンセーンケオ・マノリー（同上）

サイソムペン・ニラミット（同上）

トリー・スレイレアク（カンボジア；2019 年度交換留学生）

参加活動名；「東児童館 ハロウィンパーティー」

日時；2019 年 10 月 26 日（土） 13 時～16 時

場所；小金井市東児童館

主催；小金井市東児童館

協力；ちＱ人

参加者；地域の子どもたち、留学生（東京外国語大学、ICU、亜細亜大学）14 人

活動内容；班分け、じゃんけん列車、仮装行列（トリックオアトリート）、反省会

東児童館に到着し、仮装の準備と地域を周る際の班分けを行いました。14 時からハロウィンパーティーが始まり、留学生たちは子どもたちの前で自己紹介をしました。次に親睦を深めるために、じゃんけん列車を参加者全員で行いました。じゃんけんに負けた人が勝った人の後ろにつながっていくゲームで、じゃんけんのやり方に戸惑っていた留学生たちは苦戦してい

ました。最後は全員で一列となり、一体感が生み出されるとともに、互いを知るよいきっかけとなりました。



自己紹介する留学生たち

(左から、ミッツネイチートウンさん、マハツサジャンさん、テusstinさん、チョウティーリアウンさん、マノリーさん、ニラミットさん、
トリーさん、メイテツパインチョーさん)



じゃんけん列車のようす

その後、4つの班に分かれて、地域各所に設置された4つのチェックポイントを周りました。子どもたちは、各チェックポイントで出される、ジェスチャーゲーム、クイズ、うた（森のくまさん）、間違い探しなどの課題を留学生たちと協力してクリアし、お菓子をもらいました。



チェックポイントを巡るようす



チェックポイントで間違い探しをしているようす

イベント終了後には、スタッフと各班のリーダーが集まって反省会が行われました。留学生たちもこの反省会に参加し、一人ずつ感想などを話しました。留学生たちはハロウィンイベントに初めて参加した学生が多く、日本におけるハロウィンの一面を知るとともに、地域の子もたちとも仲良くなることができました。



反省会のようす

世界展開力強化事業（ASEAN）コーディネーター

寺井淳一記